

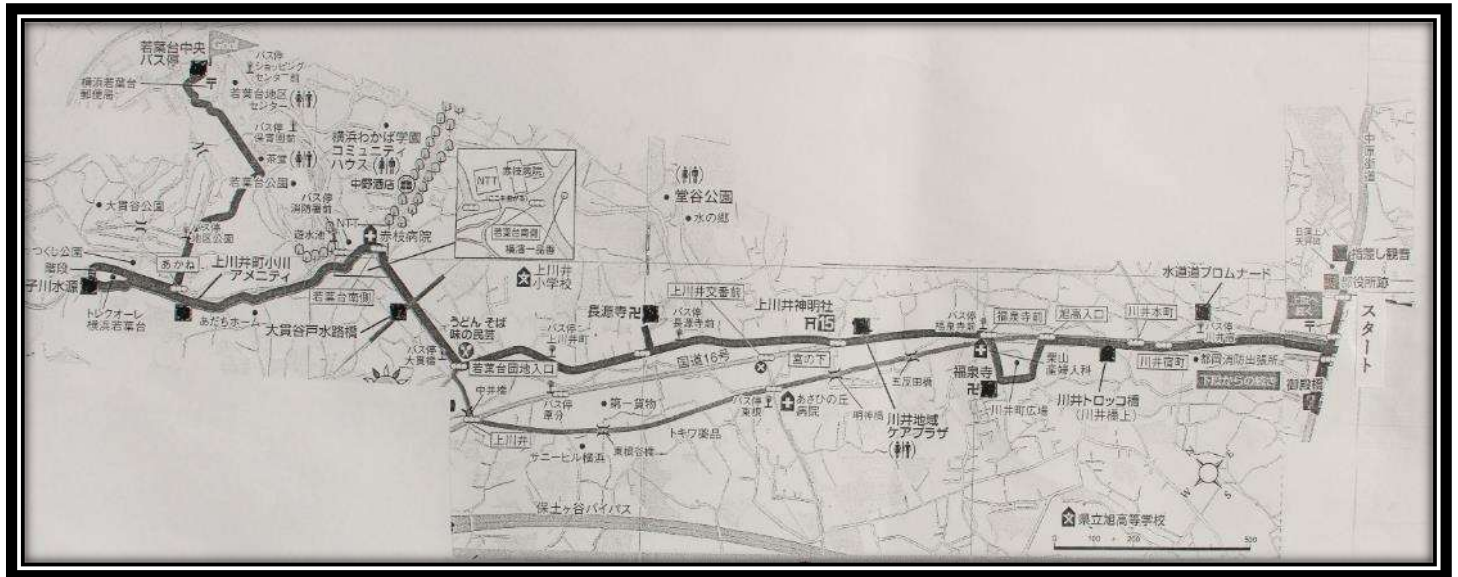
# ⑦ 帷子川を歩き水道橋を訪れる 散策資料

20180615 校正

催行日：2018年6月27日 集合：中山駅南口 9：30

・中川駅 9:07 センター北 9:13 中山駅 9:23 着 中山駅南口 1(神奈中バス 中 53・鶴ヶ峰行)9:36-9:54 都岡町

中山駅南口バス停 1 番乗り場「鶴ヶ峰行」⇒ 都岡町下車 ⇒ 郡役所跡 ⇒ 指差し観音 ⇒ 水道道プロムナード ⇒ 川井トロッコ橋 ⇒ 福泉寺 ⇒ 上川井神社 ⇒ 長源寺 ⇒ 大貫谷戸水路橋 ⇒ 上川井町小川アメニティー⇒ 帷子川の水源地(解散) ⇒(徒歩かバスで)若葉台中央からバスで十日市場・中山へ



## 旧都筑郡の役所跡と御殿橋

明治4年の廃藩置県により現在の旭区は、武蔵野国都筑郡から神奈川県都筑郡になりました。それにより明治 11 年(1878)に郡役所が、下川井村(現在の旭区)に設置されました。郡役所は翌年の明治 12 年に川和村の妙蓮寺に移転しました。役所跡の南に流れる帷子川に架かる橋を「御殿橋」とよんでいます。徳川家康がこの橋を渡ったことから、御殿橋とよばれています。

## 指差し観音

天明4年(1784)造立の指差し観音道標です。当初は道路の反対側にありましたので、この道標の指示どおり歩いても、江戸道と神奈川道の方には行きません。



← 指差し観音  
(右) かな川道 (左) 江戸ミチゆびさ志

## 水道道プロムナード

明治20年(1887)に完成した日本最初の近代水道管(鋳鋼製)が埋設されました。その水道管が敷設された道を横浜市水道道といいます。地域の活性化と水道道の記憶を後世に伝えるために遊歩道に整備されました。

## 横浜の近代水道建設の歴史

日本最大の外国人居留地として発展した明治初期の横浜は、埋め立て地が多く良質な水が得られず、外国人居留者からも良質な水の確保に強い望がありました。更に明治15年(1882)コレラの流行もあり、上水道の導入は長い間の悲願でした。

この問題を解決するために、地元商店の茂木惣之助と石原善三郎を発起人として、横浜水道会社が設立され、明治6年(1873)より多摩川を水源とする横浜水道の送水が開始されました。しかし、この上水は通水のために木樋を使用した旧式なものであったため、漏水が頻繁におこり、周囲の汚染を受けやすいという衛生上の問題があり、圧力不足から消防用に使えないという弱点がありました。このため、近代的な水道施設を求める声は日増しに強くなり、明治16年(1883)に神奈川県から水道調査設計を依頼されたのが、英国陸軍の工兵中佐(後に少将)H・S パーマー(1838~1893)です。



軍人の家庭に生まれたパーマーは工兵将校としての道を歩み、自然科学者、工学者、文筆家ジャーナリストとして活躍した多才の持ち主でした。パーマーは調査報告書で水道に十分な圧力をもたせることで、給水や防火の双方の効果が得られることを強調し、地震の多い

日本においては、鋳鉄管(ちゅうてつかん)を使用するように説いたのち帰国しました。この報告書をもとに水道計画が進められ、明治18年(1885)に再来日したパーマーによって、水源の相模川から貯水池ある野毛山までの約43kmの工事、は様々な困難が伴いました。

昔の帷子川や相模川は狭い山間を曲がりくねり、両岸の丘陵は起伏があり、鋳鉄管を繋いで地中に埋設する工事は難航をきわめました。英国から輸入した鋳鉄管船で相模川の上流まで運びあげたり、道路にトロッコを敷設して運搬しました。また水道管を川に渡すときは道路橋を架け、橋に平行して地上に水道管が現れます。こうして、2年半後に国内初の近代水道が完成し、明治20年から給水を開始することになりました。

## 木 樋



水道道プロムナード



水道管敷設工



トロッコ橋



トロッコで運ぶ



明治 20 年(1887)わが国最初の近代水道が横浜に創設されました。この水道道(みち)に架かる橋の 2本のレールは、運搬手段のなかった当時、津久井郡三井村から横浜市(三井取入れ口から野毛山浄水場)まで、約 43km の水道みちに敷設され、鉄管や機材の運搬に活躍したトロッコのレールです。

### 福泉寺

永禄元年(1558)僧山宗随により創立。江戸時代徳川家より十余石の朱印地を下付されました。明治6年(1873)より 24 年(1891)まで本堂廻一部を川井学者として使用されました。



福泉寺の山門と境内



### 上川井神明社

創建は不詳、祭神は国常立尊(くにとこたちみこと)日本初期では混沌としたものの中から、清浄なものは上昇して天となり、重く濁ったものは大地になりました。その後天地の中に葦の芽のようなものが生成され、「神」となり、最初に現れたのが、国常立尊です。境内には、横浜市指定の名木、古木の(ヤブツバキ)と庚申塔がのこされています。

### 長源寺

創建は天平 11 年(739)、旭区内で最も古い寺です。永長年間には源義家が修理し、鎧を納めたと伝えられています。旧小机領三十観音霊場の 27 番札所です。



川井学舎の碑

## 大貫谷戸水路橋

神奈川県  
の橋 100 選に選ばれている横浜市水道局の橋です。昭和 25 年(1950)着工、27 年に完成しました。長さ 306m、高さ 26m の橋で、幅 2.6m、深さ 2.4m の水路橋です。現在は通路に蓋がされています。導水路は 100m 進むと 6cm さがる勾配で、古代のローマ水道と同じ方式で水が流れる構造になっています。

大貫谷戸水路橋



## 上川井町アメニティ

若葉台団地に隣接した水路を整備して、楽しく散策できる小道として再生されたせせらぎ緑道です。

総延長約 800m のせせらぎには、たくさんの種類の草木があり、休憩所もあります。ゆっくり四季の移り変わりを楽しむことができます。帷子川の水源の一つといわれている水路の始まりは、湧き水です。

## 若葉台団地

1979 年に分譲開始、1990 年には人口 2 万人を越えたが、2017 年現在 約 1 万 6000 人(6300 戸)。

近年、積極的な再生取り組み(モデル事業)がニュースにもなっています、団地の中は活気にあふれていました。



上川井神社

長源寺



上川井町アメニティ

## 参考資料

旭区史

新・あさひ散歩

旭区散策ガイド

現地の説明板